



千葉動力車

労働協約について 交渉(9/16) 連合申16号

動労総連合は、労働協約(労使間の取り扱
いに関する協約)については、一九八七年四
月一日以降数次にわたり申し入れ、組合要求
にもとづいた協約締結を求めてきたところ
です。

JR東日本に対し、九月四日、再度「動労
総連合第一六号」を発し、九月一六日に団体
交渉が開催された。

労働基本権を尊重し労使対等の原則を基本
とする組合要求に対し、会社側は「一切修正
する考えはない」という対応に終始したため
対立で交渉は終了した。

労使対等を 否定するJR東日本

協約(案)は、会社の発展を優先し、労働
条件の改善がその次となっていること。経営
協議会を第一にし、団体交渉を第二に据えて
いること。(労使の関係は団体交渉の重視が
原則である)また、争議行為等に対する制約
は労働基本権の否定であること。などの労働
基本権に関わる労使対等を否定していること
に問題がある。

組合活動を 制限する労働協約

労働協約は、組合員の利益を守るものでな
ければならない。

JR東日本は、現在労務政策を何よりも優
先させ、会社の決めたことは問題があろうが
黙って従えば良いとする強権的なやり方を日
常的に強制し、組合所属によって選別・差別
的なやり方を強行しているのである。

労働協約についても、会社の裁量権を最大
限に取り入れて、あらゆる組合活動を制限し
ようとしているところに最大の問題がある。

「労働三権に基づく権利、
労働協約を闘いとる」
われわれは、組合活動について、会社が認
めなければ何もできない。あるいは、争議行
為に至っても、会社が組合員に介入できるよ
うな協約は締結できない。

「連合傘下労組の路線転換 ならぬ産報化を許すな」

参議院選挙に完敗した「連合」傘下労組は、
今次大会において次々と「新たな政治勢力」
の結集という名目の下、「政権交代システム」
の断念―連合政治の敗北的打撃を拭うべく、
さらなる右傾化の道をこがり落ちようとし
ている。

この間、連合傘下労組は、政権交代を口実
にして、安保・自衛隊容認、社会主義放棄、
PKO推進を「現実主義」のもと進めてきた。

それが、参院選完敗によって、根底的に否
定され、「連合」不要論に行きつくこと―パ
ブル崩壊の余波は、電気・自動車産業など主
要単産の一時帰休・人員削減などの大合理化
に直結し、闘わない「連合」の姿がより一層
の問題を提起せざるをえないことなど、存在
そのものが問われることとなっている。

又、これは「連合」の育成を労働政策の基
軸としてきた自民党政政策の破綻であり、その
余裕なき危機を示している。

結成から三年―「連合」は決定的危機を迎
えている。その綻びは、自治労に代表される
「社会党解体、新たな政治勢力の結集」など

憲法で保障されている「労働三権」にもと
づき、今後も、最低限の権利が保障される協
約を追求し、闘いとらなければならない!

という「新政治方針」―路線転換へと雪崩を
うって産報化を進むものでしかない。
大不況下―派兵下の労働運動を担えるもの
の登場こそ、今労働者が最も待望しているも
のなのだ!

「連合」打倒!一人の首切りも許さない!
労働運動、海外派兵―侵略を拒否する闘いを
更に拡大しよう!

第一一九回定期大会
一、日時 一〇月三日(土) 一三時から
四日(日) 一二時まで
二、場所 国民宿舎「のさか望洋荘」
全力で結集しよう!

お詫びと訂正

日刊前号九月一八日発行分について号数の誤
りがあり、三六五九号を三六六〇号に訂正させ
ていただきます。紙面を借りまして深くお詫び
し、号数変更をお願いいたします。